

紫波ネット

SHIWA-NET

<http://www.town.shiwa.iwate.jp/>

人と地域をつなぐ広報紙



8

No.917 2015

紫波運動公園で8月2日、第44回紫波夏まつりが開かれ、町内外から約1万1500人が訪れるにぎわいとなりました。ステージ発表を行った6団体のうち、紫波第一中学校吹奏楽部の生徒たちは、県大会で金賞を受賞した息の合った演奏を披露。夏らしいさわやかな楽曲を奏で、会場を訪れた皆さんを楽しませていました。(P2)

表紙の写真



夏まつりに花を添えた さわやかなスウィング

特集 03

まちづくり座談会 2015 報告

熱気と感動に包まれた 紫波夏まつり..... 02

日詰商店街地区でリノベーションまちづくりが始まります 10

子育てママと地域がつながって生まれた広場
「松ぼっくり山」..... 12

国体だより..... 13

町制施行60周年記念 シリーズ行ってみよう まちかどタイムスリップ..... 24

熱気と感動に包まれた 紫波夏まつり

佐々木明広さん、亜美さん、千穂美さん、
美華さん、愛雪ちゃん(赤沢)

ステージ発表はにぎやかな曲が多くて楽し
かったですし、金山太鼓とのコラボレーション
花火はスケール感と迫力があり、とてもよ
かったです! 流れる曲は、年代が上の人
向けの曲もあったらうれしいと思いまし
た。

無料ARアプリ
「COCOAR」の
使用方法



iOSはAppStore、
AndroidはGooglePlayから
「COCOAR」を起動し、マー
クのついた画像を認識させると、画面上で動画を開くこと
ができます。

第44回紫波夏まつりは8月2日、紫波運動公園で行われ、約1万1500人の来場客でにぎわいました。晴天に恵まれ、午後4時から始まった祭りは、パトクラブ「PLR岩手MBA」の愛らしい演技を皮切りにして一輪車演技団体「一新」による華やかな演技、バンド「紫宮」「昭和スターズ」による情感あふれる演奏が次々と披露されました。

大勢の人で混み合い始めた5時過ぎには、祭典会の皆さんが威勢のよいかけ声とともに御輿を担いで会場内を練り歩き、会場の熱気もぐんぐん上昇。紫波第一中学校吹奏楽部による明るく楽しい演奏の後には、祭りの総合司会を務めた町出身のシンガーソングライターfuwalaさんが、ご自身で手掛けた町のテーマソング「1234しわちよー」の盆踊りを披露しました。

東根山にすっかり日が沈んだ午後7時から盆踊り。今年も町内10団体が参加し、総勢約300人が輪になって紫波町音頭と銭形音頭を踊りました。そして最後は皆さんお待ちかねの打ち上げ花火。佐比内金山太鼓の皆さんによる迫力あふれる演奏に合わせて打ち上げられた約4000発の花火が、ダイナミックに夏の夜空を彩りました。



まちづくり座談会 2015 報告

どうなっ
ているの？町の今

町は6月13日から22日までの期間、町内各地区で「まちづくり座談会」を開催しました。今回の座談会では、町からの話題として「地方創生」などについて説明。参加した延べ204人の皆さんからは、地方創生のほかに「学校の統廃合」や「大雨対策」など、約150件のご意見・ご質問が寄せられました。

広報『紫波ネット』では、会場でいただいたご意見やご質問の一部を抜粋して紹介します。(会議録は後日、町のホームページに掲載するほか、各地区公民館や図書館に設置する予定です)

◆2015まちづくり座談会 参加者数

今年の座談会参加者は204人。昨年より33人減少し、男女比は昨年と変わらず約4：1でした。

日 付	会 場	年代								合計	男女内訳	
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明		男性	女性
6月13日(土)	志 和 公 民 館	0	0	0	5	9	3	0	1	18	14	4
6月13日(土)	中 央 公 民 館	0	1	0	1	4	6	3	1	16	10	6
6月15日(月)	赤 沢 公 民 館	0	0	0	5	9	1	0	2	17	14	3
6月17日(水)	赤 石 公 民 館	0	0	2	5	15	13	4	2	41	36	5
6月18日(木)	佐 比 内 公 民 館	0	0	0	6	10	4	0	1	21	18	3
6月19日(金)	彦 部 公 民 館	0	1	2	5	7	3	1	1	20	16	4
6月20日(土)	古館ふれあいホール	0	0	2	3	10	14	2	3	34	25	9
6月20日(土)	長 岡 公 民 館	0	0	1	1	5	2	0	1	10	9	1
6月22日(月)	水 分 公 民 館	0	0	2	6	16	3	0	0	27	23	4
合 計		0	2	9	37	85	49	10	12	204	165	39

地方創生について

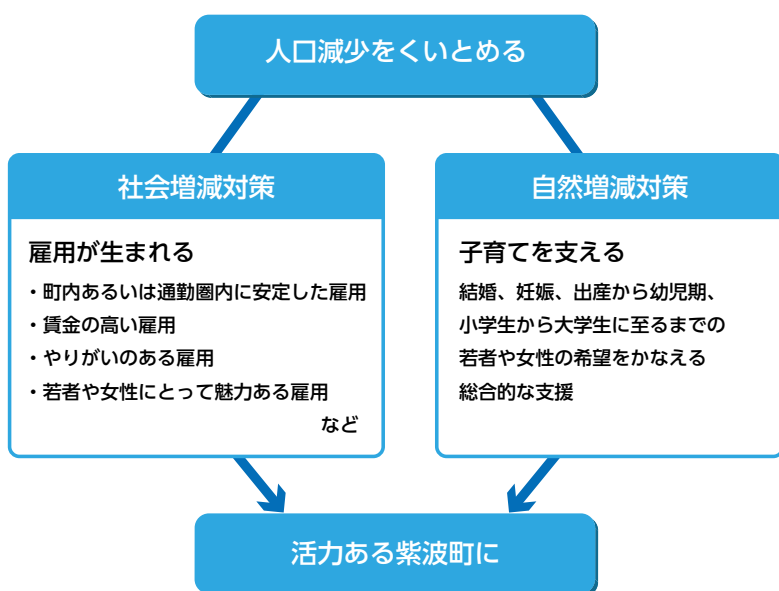
～総合計画の見直しとともに進めます～

わが国は、今後加速的に進む人口減少という課題に直面しています。将来にわたって活力ある社会を維持していくためには、各地域がそれぞれの特色を生かし持続可能な地域社会を形成することが必要であるということから、昨年「まち・ひと・しごと創生法」が策定されました。

この法律に基づき、町でも独自の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を作ります。この戦略は、町の皆さんから随時ご意見をいただきながら、今年の秋までに作る予定です。

また同時進行で、第二次紫波町総合計画の後期基本計画(平成28年～32年)も本年度中に策定します。

紫波町人口ビジョンの方向性(例示)



紫波町総合戦略の方向性(例示)

【基本目標】

- ①ひとをつくる ②しごとがうまれる
- ③地域をつくる
- ④子育て支援・教育の充実

【基本的方向】

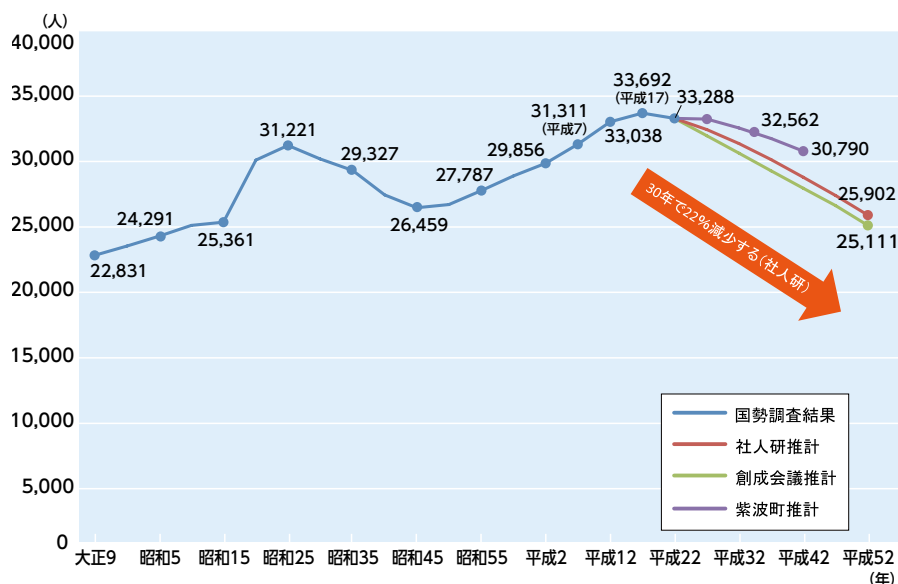
- ①公共精神を持った人材をつくる
- ②働くことができる環境づくりを行う
- ③町の基幹産業である「農林業」に磨きをかける
- ④子育てを支援するとともに未来を担う子どもたちを育む
- ⑤幸せに暮らすことができるよう地域による地域づくりを応援する

※「方向性」はあくまで例示です。地域の皆さんのご意見を伺いながら、町独自の戦略を作ります。

◆紫波町の人口推移と推計

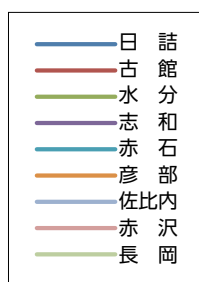
町の人口は、これまでの国勢調査の推移を見ると、平成17年の3万3692人をピークに、緩やかに減少しています。国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の推計によると、平成52年には、町の人口は2万5111人になると見込まれています。

(出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、日本創成会議「ストップ少子化・地方元気戦略」、紫波町「第二次紫波町総合計画後期基本計画人口推計」)

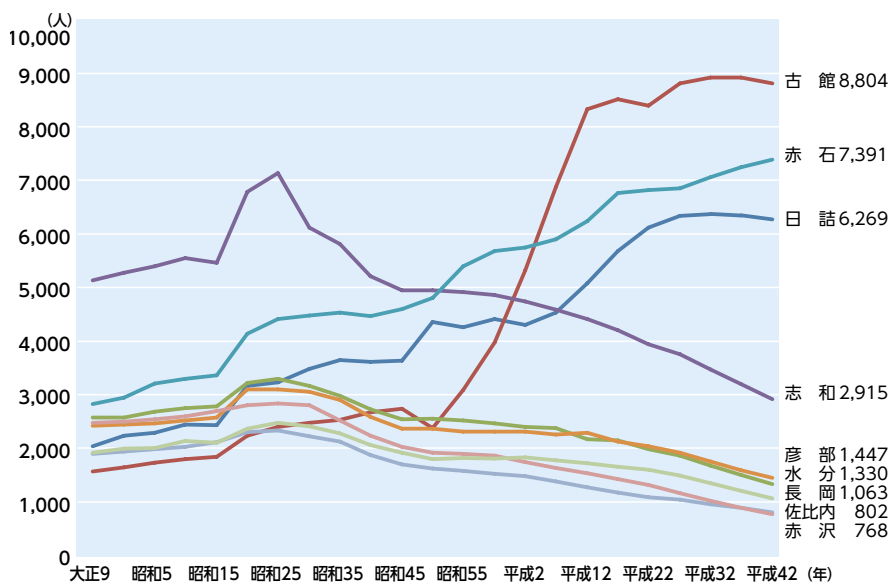


◆各地区の人口推移と推計

町内でも、中央部と東部・西部地区とでは、人口が大きく異なっています。



(出典:総務省「国勢調査」、紫波町「第二次紫波町総合計画後期基本計画人口推計」)



◆紫波町の人口推移の特徴

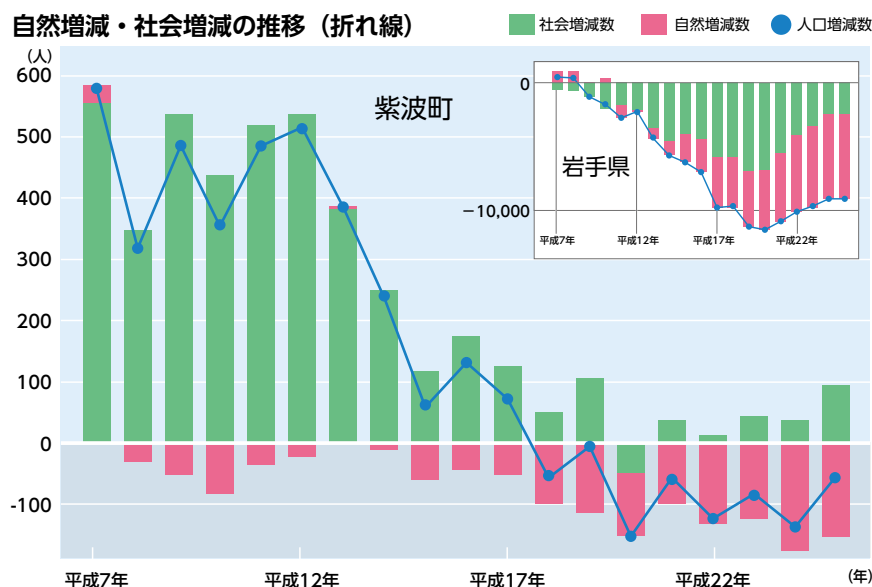
1) 自然増減・社会増減の推移

県内が人口減少に転じた平成9年以降も、町内はしばらく人口が増え続けていました。これは、転入者数が転出者数を上回っていたためです。平成25年まで転入者数が多い状態は続いています。それ以上に死亡者数が多くなっていることから、町の人口は減少しています。

※「自然増減数」は出生・死亡による人口増減数、「社会増減数」は転入転出による人口増減数。

(出典:総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数に関する調査」)

自然増減・社会増減の推移 (折れ線)



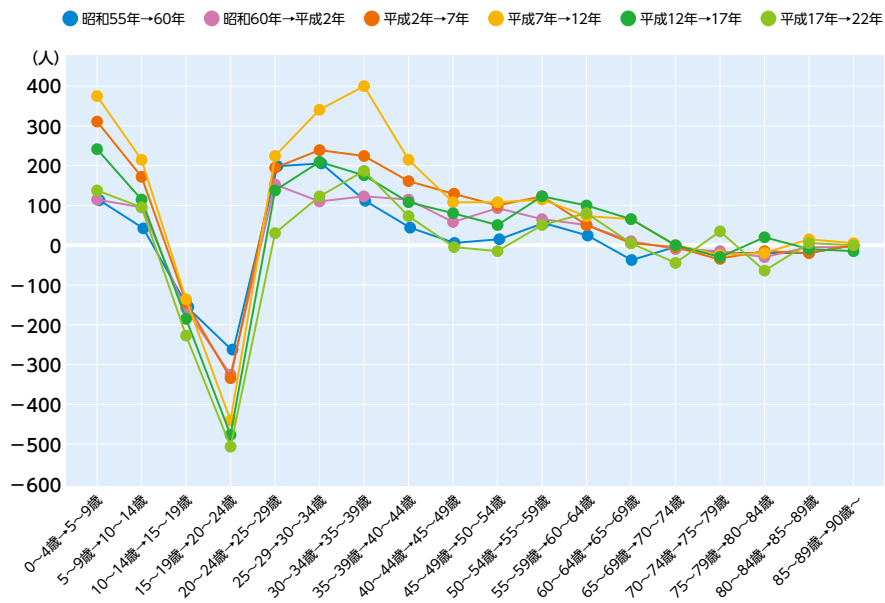
2) 年齢階級別純移動数の推移

時代の推移に関わらず、学生や新卒者である10～20代の転出が多く、子育て世代やマイホーム購入年代である30～40代と同世帯の子どもたち0～10代で転入が多いことが分かります。長期的動向を見ると、転入超過の山は低く、転出超過の谷は深くなっていく傾向にあります。

また、転入者・転出者の内訳を調べると、紫波町には県内からの転入者が多く、県外への転出者が多いことが分かります。

(出典:総務省「国勢調査」、総務省「住民基本台帳人口移動報告」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成)

町の年齢階級別純移動数の時系列分析



※詳しいデータは地域経済分析システム「RESAS (リーサス)」で見ることができます。ブラウザはGoogle Chromeでご覧ください。



会場でいただいたご意見・ご質問の一部を紹介します。

6月13日(土) 午前10時～正午

志和公民館

◎参加者18人

質問 紫波町は、子どもの**医療費助成制度**が県内でも低い方だと聞いたが本当か。

回答 県内の医療費助成の現状を見ると、対象を小学6年生までにしているところが多いが、9市、中学3年生までが11市町、高校卒業までが5町村あります。そのような

中、紫波町は、人口が3万人を超えている比較的人口規模の大きな町であり、対象者が多くなってしまうことから、助成対象の拡大がなかなかできない状況です。

意見 町内には、**行政区長**や**自治会長**などが混在している。他の市町村では統合したところもあるので、役割を一本化した方がよいのではないか。

回答 行政区長制度を変えることで、さまざまな課題解決につながるのではというご意見ですが、地域制度においてA町が正しくてB町が正しくないということではないと考えています。それぞれの地域の実情や歴史というものもあります。他の市町村でも、やはり自治会の後継者不足という課題はあるようです。その地域で暮らしている人たちにとって、どのようなカタチにするのが本当によいのか、今後さらに分析が必要だと考えています。

意見 地区に若い女性が少なくなっている中で、**婦人消防協力隊**に決まった人数を出さなければならぬことが大変。人数を減らすことはできないか。

回答 志和地区だけでなく、町全体で同様の傾向があります。地域の実情を伺い、個別に相談を重ねていきたいと思っています。

意見 **片寄小学校の前に横断歩道**があるが、石鳥谷方面から来るとカーブで見えづらく、事故も起った。カーブの手前に予告信号があればいいと思う。

意見 片寄小学校前の道路には、小学校の校庭の木がかかっている。その木を切るだけで見通しがよくなると思う。

回答 現地を確認し、学校や関係者と相談したいと思います。

【補足】地区の安全協会と相談し、現在信号機案内板を設置する方向で動いています。

中央公民館

◎参加者16人

質問 **国体選手の宿泊先**は決まっているのか。

回答 町内の宿泊施設と近隣市町村の宿泊施設になります。民泊は行わない予定です。

意見 若い人たちが安心して結婚し子育てできる**雇用環境**や**保育環境**を整えてほしい。

回答 働く場を広げる取り組みとして、企業誘致がありますが、現在は立地できる土地がない状況です。インターチェンジ付近などへの問い合わせはあるのですが、立地には至っていません。また、町内企業

の採用情報もハローワークに掲載されていますが、求人に対する応募がなかなかない状況です。若い人たちがどのような仕事を望んでいるのかということも踏まえながら、対策を進めていきたいと思っています。

子育て環境としては、今の保育制度と子育て世代のニーズが合っていないのが現状だと考えています。今の子育て政策のあり方を見直す必要性に配慮しながら、今後の計画を作っていきたいと思っています。

質問 町はどのように**空き家対策**をしているのか。

回答 平成25年に行われた「住宅・統計調査」によると、空き家率は、県で13.8%（賃貸住宅を除くと7.4%）、町では6.9%（賃貸住宅を除くと4.2%）という状況です。また昨年、町が行った調査によると、町内には約407戸の空き家があり、老朽化などによる危険・不衛生な建物は57戸あることが分かりました。空き家の処分は持ち主の責任で行うことが基本ですが、町としては現在、このような建物への対応・対策などについての課題整理を始めているところです。

質問 城山公園からフランス温泉館にかけての道に、**歩道**がほとんどない。**道路の整備計画**について、教えてほしい。

回答 町内には約940kmの町道があり、そのうち2車線になっている道路が主に1級町道と呼ばれている道路です。この指摘のラ・フランス温泉館まで延びている道路は、1級町道であり、本来であれば全ての区間に歩道を整備したいのですが、多額のお金がかかるため、町だけで整備することは困難な状況です。

紫波総合高等学校から城山公園に抜ける道路については歩道整備のみならず、JR跨線橋の架け替えなどにも必要になってくることから、今後、実施計画の着手時期について精査を行っていく予定です。

6月15日（月）午後7時～9時 赤沢公民館 ◎参加者17人

意見 岩手大学の学生で、赤沢地区に水車小屋を作り、**空き家**を補修して借りたという人がやってきた。そのような人もあるので、崩壊しそうな空き家をすぐに壊すのではなく、相談に乗ってくれるようなシステムがあればうれしい。

「赤沢はいいところだね」という岩手大

回答 数は少ないですが、新規就農者の人で、空き家と農地を借り、農業を始めている人もいます。また、都心で暮らしていた人が農村地域に移住するよう

例も増えてきているので、東京にある定住移住センターなどでも、町の魅力をPRできるものを設置できればと考えています。

意見 総合計画の中で「**環境に配慮しながら、商業や工業を推進します**」という記載がある。赤沢地区は自然環境がとても良く、環境マイスター紫波による「あかざわ川自然学校」なども行われている。もし企業や工場を誘致するなら「環境に負荷をかけない」という決まりが必要なのではないか。

回答 工場などが町内に設置される計画がある場合、その規模が一定規模以上になると、関係部署で構成される環境保全委員会、審査が行われます。その結果として、設置を認めない場合や、一部改善を要求する場合があります。また、都市計画区域においては、環境保全委員会のほかに、開発時に再度土地利用や生活環境の確保などの観点から計画についても審査を行います。

質問 **二中のプールの改修計画**があったと聞いているが、なくなったのか。

回答 設計は昨年行いましたが、本年度は予算が厳しい状況のため、工事は来年度以降に行う予定です。

意見 公民館の運営について。地域課題の解決について、役場の各部署から相談を受けることがある。**これからの時代の公民館**には、役場と一緒に地域課題を解決する役割が求められていくのではないかと。

回答 ご指摘いただいたことは、全国的には公民館の「コミュニティセンター化」として進められているところもあります。町では、今後人口が減少していく中で「どのようなカタチが本当に良いのか」ということについて、議論を深めていく必要があると思います。

6月17日（水）午後7時～9時 赤石公民館 ◎参加者41人

意見 人口減少のこの時代、**計画やまちづくりの考え方も**コンパクトにしている方がよいのではないかと。まちづくりの理念はどうなっているのか。

回答 人口が減るといことは、税収も減ることです。そのような時代の変化に対応できるような持続可能なまちをつくっていきたいと考えています。また、国や県の動向も見ながら、町の特色を生かしたまちづくりをしていきたいと考えています。

質問 **町の財政**はどうなっているのか。赤字はどうやって改善しているのか。

回答 現在、町財政に赤字はなく、借金も必ず返せるように計画しながら、歳入と歳出をやりくりして予算編成を行っています。

紫波町の標準財政規模は約84億円ですが、町の本年度の一般会計予算は133億円ほどになっています。そのうち、約36%が町独自の財源で、約64%は国などから交付されるお金（用途が指定されているお金）です。町財政が厳しくなっていることの原因には、民生費が伸びていることや国の制度変更に対応するための費用がかかっていること、災害復旧が挙げられます。さらに、地方交付税も、リーマンショック以降に加算されていた分が2～3年後にはなくなる可能性が出てきました。今後、国の動向や人口減少にも対応できる財政運営をしていくことが重要だと考えています。

意見 **観光振興**について、町よりも民間の方の活動が随分進んでいるような気がする。観光情報の発信拠点となるような文化振興施設や、スポーツ振興施設の整備を具体的に進めてほしい。

回答 「民間の方が進んでいる」というお話は、地域が成熟社会に向かっているというところで、良いことだと思います。文化施設・スポーツ施設の整備についても、今後検討してまいります。

6月18日（木）午後7時～9時

佐比内公民館

◎参加者21人

意見 砥ヶ崎の田んぼに**隠れキリシタ**

ンの墓標があつたが倒れた。観光支援として、修繕するなどの対応してほしい。

回答 現地を確認して対応します。

【補足】現地は確認済みです。現在、壊れている箇所を順番に修繕しているところで、ご理解をお願いします。

質問 一昨年8月9日の大雨の後、**松**

食い虫被害木が倒れ、自分の山にも登れない状態。いづころ対応してもらえるのか。

回答 松食い虫対応事業は、昨年まで国から100%費用が出る事業がありましたが、今年からは県の補助事業となり、予算が減少しました。被害場所が広範囲にわたるため、手が回らないというのが現状です。担当につき、順次対応を進めてまいります。

意見 冬季の**除雪**をもっときれいに、スムーズにしてほしい。

回答 除雪は役場だけでなく、町内建設業者のほぼ全社に、通勤通学路を優先するなど一定のルールを決めて依頼していますが、各社での技術の違いもあり、ご期待

に添えていないところがあるかもしれません。ご意見は、今年の除雪に生かしてまいります。

6月19日（金）午後7時～9時

彦部公民館

◎参加者20人

意見 自転車競技場は、県内で唯一。また、**サイクルパーク**も整備されるため、国体が終わってから、ロードレース大会が行われるようにしてほしい。

回答 全国クラスのロードレース大会ができる限り誘致し、サイクルパークを活用していきたいと考えています。

意見 **大雨時の情報**について。大雨が降ると鉄道下の立体交差が冠水するが、現在どの道が通れるかという情報が分かれば便利だと思う。専用ダイヤル回線があつたらよいのではないかと。

回答 大雨時の町内の危険状況などは有線やホームページ、重大な情報はエリメールでお知らせしています。立体交差の通行状況については今後、通行者の皆さんに伝えられるように、現場での対応に加え、ホームページにも掲載するようになりたいと思います。

意見 国が進めている**堤防整備計画**について。対岸だけの整備が行われると、彦

部地区の被害が広がる可能性があるのと、川東地区側の整備も進めてほしい。

回答 国の河川整備計画では、平成14年、19年の洪水で家屋が浸水した場所から優先的に整備が進められており、甘木地区の堤防整備は平成27年度に完成する予定です。この甘木堤防の完成による対岸への影響は推測しかねますが、北上川が大きく蛇行していることから、地元主催の懇談会などにおいても、被害拡大を懸念するご意見をいただいています。

町としては、昭和40年代に整備が途中で終わっている彦部地区側の堤防についても、甘木堤防との一連区間として整備いただくよう国に要望してまいります。

6月20日（土）午前10時～正午

古館ふれあいホール

◎参加者34人

質問 **自主防災組織を立ち上げた後の支援**はどのようになっているのか。

回答 昨年は、古館ふれあいホールで、町内各地区の自主防災組織のリーダーを対象に、情報交換や研修を行いました。また、盛岡地区で行われるリーダー研修会への派遣も行っています。さらに、各地区での説明会の際にお邪魔し、それぞれに呼びかけや対策も行っています。町から、職員を派遣することもできますので、ご相談く

ださい。

質問 **旧庁舎の活用方法**は決まっているのか。

回答 現在のところ、公共施設ではなく、民間に貸し付ける方向で調査を始めています。コンクリートの質の調査も今月から開始し、民間で活用できる方法がないか考えてまいります。

質問 **企業誘致**について。町では、どのように進めているのか。

回答 企業誘致の場所として考えているのは、犬淵工業団地、南日詰、インターチェンジ周辺の土地であり、いずれも民有地です。

インターチェンジ周辺については、農業振興地域に指定されている土地であるため、その指定が変更されるように進めているところです。

6月20日（土）午後1時30分～3時30分

長岡公民館

◎参加者10人

意見 **有害鳥獣**が出没し、被害は少ないがその影響を受けている。もう少し積極的な対策を進めてほしい。また、具体的な取り組みはいつなっているのか。

回答 鳥獣被害には、人的被害と作物被害があり、東部地区では人的被害は比較

的少ない状況です。クマはわなによる駆除実績がありますが、シカは箱わな・くくりわなを使用した捕獲に成果が出ています。有害鳥獣を農地に近づけないことが被害の軽減につながりますので、農家の皆さんには、今後とも払いの積極的な実施をお願いします。

意見 保育所や学童保育の時間が短い

ため、長岡地区から転出していった人を何人が知っている。このことが、人口流出の1つの原因になっているのではないかと。

回答 長岡地区の保育所利用者の中には、預かり時間の長い、職場近くの保育所を希望し、預けている人もいます。

学童保育といわれる放課後預かりの「こどもの家」に関しては、地域の方々の支援により、公民館や児童館で預かる方法をとっている地区もあります。また、中央部のこどもの家ではスタッフが集まらない現状があり、困っている状況です。地域の皆さんによる動きがありましたら、町としても協力していきたいと思っています。

質問 公民館の予算が40%カットされたのはなぜか。復活要求はできないのか。

回答 町の財政は、民生費(子ども子育て新制度への対応、障害者への給付、介護保険への繰り出しなど)が毎年伸びており、税収が思うように増えていない中でやり

くりしている状況です。また、一昨年に発生した災害復旧工事の影響もあるため、今年から来年にかけては依然苦しい状況となります。

また、国の補助事業で交付されるお金は、用途が決まっているお金であり、ご指摘の公民館の費用は、町が財源を確保しなければならぬお金です。町は、財源が無い中で、破綻しないように歳入と歳出のバランスを調整していくことが必要です。

歳入が伸びれば良いのですが、地方交付税もリーマンショック以降に加算されていた部分が減らされていく見込みであり、町が自由に使えるお金がますます減っていくことになります。

町の財政は「入りをはかたて出するを制す」が基本です。ご理解をお願いします。

6月22日(月) 午後7時～9時 水分公民館 ◎参加者27人

意見 町内各地区に「街路灯」が少ないので増やしてほしい。習い事などに通っている子どもたちもいるが、親がみんな送り迎えをできるとは限らない。

回答 町内の街路灯には2種類のものがあります。1つは、交通安全上危険な場所で町が設置し維持管理をしているもの、もう1つは、地域の要望により暗所などに設置するもので、町ではなく各地域で設置し

ていただいているものです。

町では2年に1回、東北電力から街路灯を提供いただいております。本年度は8基の寄贈を受け設置する予定です。2基は自転車競技場付近に設置する予定です。残り6基は、行政区長の皆さんから公募し、審査により設置してまいります。

質問 小学校の統廃合についての考え方を教えてください。

回答 「子どもが少ないから統廃合」という考え方はせず、「子どもたちがどのように育っていくか」ということについて、今年から審議会を立ち上げて考えていきます。審議会からは来年答申をいただきますが、総合的には4～5年かけて考えていきたいと考えています。

意見 オガールの駐車場が少ないのもっと広くしてほしい。

回答 オガールプラザの南側には90分以内であれば無料、90分以上は1回100円の駐車場がありますので、そちらも合わせて利用していただければと思います。

意見 ケヤキ通りは、なぜあのような見苦しい状態なのか。町の木なのだからもっと大切にしてほしい。これから国体でたくさんの人たちが町を訪れるので、もっと木らしく手入れをしてほしい。

回答 ケヤキの木は確かに町の木ですが、そもそも街路樹としてふさわしかったかどうかという考え方もあります。しかし、せっかく植えた木ですので、ただ伐るというのではなく、間引きなどの手法も取り入れながら管理していきたいと思っています。いただいたご意見を持ち帰り、今後の剪定方法などを再度検討してまいります。



会議録は後日、ホームページに掲載するほか、各地区公民館や図書館に設置する予定です。

■担当 企画課 情報政策室

☎(672)2111 内線2322

日詰商店街地区で リノベーションまちづくりが 始まります

日詰リノベーションまちづくりの概要

グループワークと座学から実践的に学ぶ

リノベーションスクールでは、実際の空き物件を題材にして、実践力のある人材を育成する。

日詰商店街近郊の
遊休不動産を活用
する

空きビル／空き店
舗／空家／空き地
など

不動産所有者
(民間/公共)

リノベーション
スクール

さまざまな分野で
活動している
人たち・学生

リノベーションスクール

さまざまな分野の人たちが、地域ごとに新しい事業を起こしていける力をつけ、地域に事業家として継続的に活躍できる“新しい事業・職業ネットワークのモデル”を創り出す

目 的

環境の改善と雇用創出、
町内への効果波及の
同時実現



日詰リノベーションまちづくり構想

町の地域経営課題を解決するため、日詰地区を中心に遊休化した不動産と潜在的な地域資源を活用し、民間主導による事業化を行うリノベーションまちづくりを推進するための構想

日詰リノベーションまちづくり検討委員会

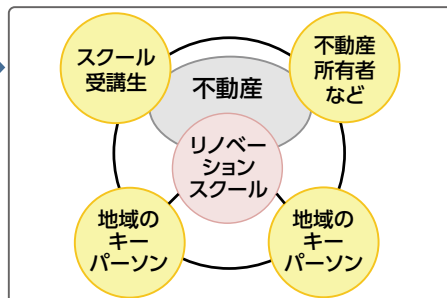
行政のみならず、有識者や地元の不動産所有者、地元関係団体などを委員会のメンバーとし、構想などを検討する

第1回 日詰リノベーションまちづくり検討委員会
平成27年5月30日

第2回 日詰リノベーションまちづくり検討委員会
平成27年7月18日

第3回 日詰リノベーションまちづくり検討委員会
(未定)

日詰リノベーションまちづくり構想に
基づき、日詰(紫波町)の将来ビジョンの
実現を目指す



持続的な人材輩出
連続的なプロジェクトの創造

家守塾による 家守人材発掘・育成

紫波町家守塾
「現代版家守」の人材を発掘・
育成する場をつくる

第1回紫波町家守塾
平成27年8月6日～7日
第2回紫波町家守塾
(未定)

日詰地区は古くから、北上川を行き来する舟運の河岸、宿場町として数百年にわたりにぎわい続けていました。日詰地区を調査してみると、実に多くの歴史的資源があります。オールドプロジェクトを計画する際には、町の歴史性を再認識することが大切でした。そして、old & new が同時にある、オールドと日詰が一つになった新たなまちの中心づくりが行われなければならないと考えました。

これから、日詰地区で「リノベーションまちづくり」が始まります。

リノベーションまちづくりとは

リノベーションまちづくりとは、空き家や空き店舗などの遊休不動産を民間自立で活用し、町の課題を解決していくことです。不動産の所有者、起業家などの事業主、民間自立型まちづくり会社である家守(かもり)会社が連携し、働くところや住むところ、にぎわいなどを創出していきます。

町では、事業者や家守会社を目指す人のために講演会や実践型勉強会などを開催するとともに、検討委員会を開催し日詰のこれからの姿を考え、住民の皆さん、事業者の皆さんとともに取り組んでいきます。

日詰リノベーション まちづくり構想

町は、地域経営課題を解決するため、日詰地区を中心に遊休化した不動産と潜在的な地域資源を活用し、民間主導によって事業化を行うリノベーションまちづくりを推進するための構想を策定します。この構想に基づき、日詰地区でリノベーション事業を推進していきます。

家守とは

「家守」とは江戸時代、不在地主に代わって家屋を管理する役割の人のことをいいました。店子に慕われ尊敬されると同時に、店子から持ち込まれたありとあらゆる面倒ごとの相談に乗っていました。

現代版家守は、江戸の町人によるまちのマネジメントの仕組み「家守」を現代に取り入れて、空室の多いビルの店子集めから、地元の職人・企業との交流による起業支援などを手がけます。この仕組みをおしてまちを再生しようという実践的な試みが全国各地で始まっています。

家守塾とは

家守塾は、実際に家守事業をやりた人、家守チームを組みたい人、家守と一緒に不動産を活用したい不動産所

有者などを対象に事業化の方法を学ぶ場です。10人程度のチームごとに、実際の遊休不動産を案件として、不動産がある地域の未来像や不動産の活用方法、事業費や資金計画などを考えていきます。

リノベーションスクールとは

リノベーションスクールは、不動産の再生を通じて、まちでの新しいビジネスを生み出し、建物だけではなく、地域全体の価値を上げる実践の場です。

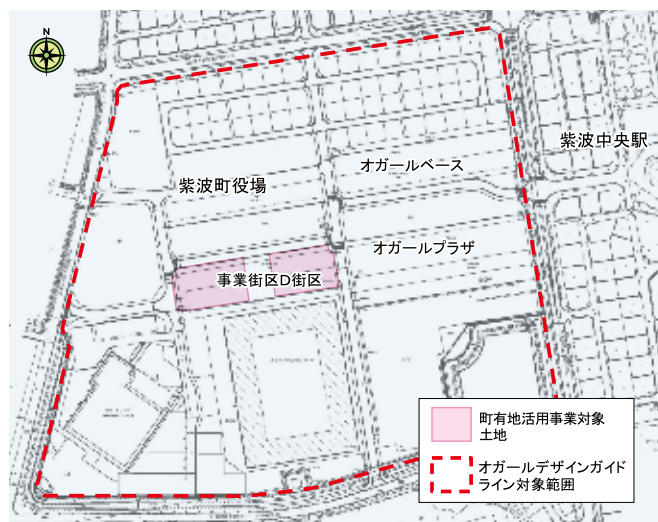
全国の先駆けである北九州市では、平成23年8月から半年に1度の頻度で開催され、今夏で9回目を迎えており、その取り組みが全国の地方都市に波及しています。

スクールでは、開催地の実際の空き物件（遊休不動産）を対象に、地元はもちろん、全国から集まったさまざまな経歴を持つ参加者たちが10人程度のチームを組んで、そのまちの未来を考えます。受講者は3〜4日間でリノベーションの事業プランを練り上げ、最終日に遊休不動産のオーナーに提案し、スクール後に提案をもとに実業化を目指します。

★「リノベーションスクール@紫波」は、9月25日（金）から27日（日）までの期間に開催予定です。詳細は今後の広報やホームページなどでお知らせします。

オガール通信

紫波中央駅前町有地活用事業（その4） 事業実施方針（案）の公表



町は、紫波中央駅前町有地（オガール地区）の事業街区D街区を貸し出し、エネルギーソリューションの西側に（仮称）紫波中央駅前保育所を、東側に民間事業棟を設置することを予定しています。

本事業では、オガールプラザ整備の実績を持つオガール紫波（株）を「町の代理人」である事業予定者として、安心して子育てができる環境と、にぎわいのある魅力ある都市空間を創出したいと考え、この度、紫波中央駅前町有地活用事業（その4）事業実施方針（案）を策定しました。

また、町がオガール紫波（株）を事業予定者としたことに伴い、オガール紫波（株）はこの事業実施方針に基づいて「オガールエリア事業街区D街区民間事業棟への出店等希望者の募集について（公募）」を公表しました。出店を希望する人は、関心表明書を8月18日（火）までに、オガール紫波（株）に提出するようお願いいたします。

問合せ

企画課 公民連携室
オガール紫波（株）

☎672-2111 内線2290
☎681-1316

✉shiwa-ppp@town.shiwa.iwate.jp
✉ogare-shiwa@oasis.ocn.ne.jp

子育てママと地域がつながって生まれた広場

松ぼっくり山

古館地区の住宅街の一角にある、可愛らしい手作り看板が目印の広場「松ぼっくり山」。岩手山が見渡せる少し小高い場所にある広場内には、手作りブランコやシーソーなどの遊具、切り株の椅子があちこちに並んでいます。この広場は、地域の皆さんによって作られたもので、現在では、子どもたちはもちろん、地域の人たちがいつでも気軽に足を運ぶ憩いの場になっています。



松ぼっくり山の整備に関わっている地域の皆さん

子育ての悩みと地域課題を解決したアイデア

松ぼっくり山ができたのは、今から3年前のこと。近くに住む子育て中のお母さん、戸塚匡子さんの「子どもたちをのびのびと自然の中で遊ばせてあげたい」という思いがきっかけで、広場づくりが始まりました。戸塚さんから最初に相談を受けた佐藤隆五郎さんは、現在「松ぼっくり山を考える会」の会長を務めており「この場所は、住宅街では数少ない緑地なのにもつたないとい前から感じていました。木が生い茂っていたため、通ることを怖がる子どももいましたし、不法投棄もありました。戸塚さんのアイデアはとても良い考えだと思いましたので、早速地主さんの協力を得て、地区の皆さんにもすぐ相談し、一緒に取り組むことにしたんです」と振り返ります。

垣根が低くて懐の広い広場に

1年間ほどの準備期間を経て始まった広場づくりには、地域の方々、お父さんお母さん、子どもたちなど約40人が参加。県の「環境の森整備事業」を活用して木の間伐を行い、

伐採した木はチップや遊具にして再利用し、力を合わせてこつこつと広場を作ってきました。

戸塚さんは「広場ができたときは『夢は本当に叶うものなんだ』と、思わず涙が出ました。地域の方々の温かい目がある中で、子どもも大人もゆつくりと過ごすことができるこの場所は、垣根が低くて懐の広い場所だと思っています。誰も強制しない、自然でゆるやかな空気が、みんなにとって心地良いのだと思います。今、



6月には、子どもも大人も一緒に汗をかき、大好きな広場をきれいにしました



広場内の遊具や木々で思い思いに遊ぶ子どもたち



今年の春の「遊ぼう会」では山菜の天ぷらを作りました

こうして広場を見守ってくださる人たちがいることが本当にありがたいですし、子どもたちが大きくなった時に『この場所で遊んだよ』と話せるように、ずっと残していきたいです」と語ります。

松ぼっくり山では、年に6回ほど「遊ぼう会」が開催されており、季節に合わせた体験や遊びが行われています。普段も、自由に遊ぶことができますので、皆さんも一度足を運んでみませんか。

★今後の「遊ぼう会」の予定については「松ぼっくり山を考える会」事務局の戸塚さん（gonohokyoko@hotmail.com）までお問い合わせください。

国体
だより

お知らせ

国体リハーサル大会に伴う交通規制

8月21日から23日までの期間に開催する国体リハーサル大会に伴い、次のとおり交通規制が行われます。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

おもっち
(自転車バージョン)



国体リハーサル大会のプログラムや見どころは『紫波ネット7月号NO.915』で紹介していますので、ご覧ください

日詰方面からの佐比内サイクルパークへの行き方

紫波橋東T字路信号を左折し、すぐ次の信号を右折後国道396号方面へ。国道396号信号を右折し約8km南下、紫波ふる里センター(峠の駅)手前T字路を右折し、紫波観光ぶどう園の方向へ1.3kmほど進むと到着します。

※ロードレース当日の8月23日(日)は、午前8時20分から9時まで、紫波橋を通行することができません。サイクルパークに向かう際は、規制時間前後に通行するか、長徳橋や紫波南大橋を渡って向かってください。

※佐比内サイクルパークの駐車場は、混雑が予想されます。お出かけの際は、できる限り乗り合いでお出かけください。



北側から見たサイクルパーク。駐車スペースは4段になっている



◀約300人もの関係者が見守る中で行われた供用開始のテープカット



こけら落としとなったレースのスタート

佐比内サイクルパーク『金輪の丘』が完成しました

来年開催のいわて国体に向け、昨年8月から整備が進められてきた自転車ロードレース拠点施設が佐比内地区に完成し、7月26日に供用が開始されました。こけら落としとなった第42回東北総合体育大会自転車競技会ロードレースの前には開園式典が行われ、熊谷町長が「自転車はもとより、地域振興のためにご愛用願いたい」と式辞を述べました。同施設は、総面積2万5686㎡、車両約200台分の駐車スペースやトイレなどを完備。愛称は、地区の皆さんのご意見を受け、佐比内金山の「金」と、自転車の「銀輪」をかけて『金輪の丘』と名付けられました。

健康

熱中症を予防しよう!



暑い日が続き、熱中症で救急搬送される人が全国的に増えています。熱中症を正しく理解し、予防に努めていきましょう。

熱中症って?

高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。

どんな症状がでるの?

★**軽**…めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い

★**中**…頭痛、吐気、嘔吐、体がだるい(倦怠感)、虚脱感

★**重**…意識がない、けいれん、体温が高い、呼びかけに対する返事がおかしい、まっすぐに歩けない、走れない

部屋の中なら大丈夫?

熱中症は室内で何もしていないときでも発症する危険性があります。

どう予防すればいいの?

熱中症の予防には「暑さを避けること」と「こまめに水分を補給すること」が大切です。

暑さを避ける

室内では…
・扇風機やエアコンで温度を調節

・遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
・室温をこまめに確認
・外出時には…
・日傘や帽子の着用
・日陰の利用、こまめな休憩
・天気の良い日は、日中の外出をできるだけ控える



体の蓄熱を避けるために…

・通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する
・保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、体を冷やす

こまめに水分を補給する

室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分、経口補水液(水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの)などを補給する。

熱中症が疑われる人を見かけたら?

エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など、涼しい場所へ避難させます。衣服を緩め、体を冷やしましょう。特に首の周り、足の付け根などを冷やします。水分補給を促しますが、自力で水が飲めない場合や、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう。

熱中症の予防に努め、暑い夏を乗り切りましょう!



催し 家族介護者教室

自宅でご家族の介護をしている人を対象とした日帰りの事業です。介護者の皆さんと交流や情報交換をしながら、リフレッシュしませんか。希望者には送迎も可能です。

- 日時 8月31日(月)午前10時～午後3時
 - 会場 あづまね温泉ききょう荘
 - 対象・定員 在宅で要介護1～5の認定を受けている人を介護しているご家族 15人
 - 参加費 1020円(昼食付)
 - 申込 8月24日(月)まで
- ※参加に際して、ショートステイなどの介護保険サービスの利用が必要な人は、担当のケアマネジャーにお早めにご相談願います。

お知らせ

尿とりパッドなどを支給します

町は、在宅介護で紙おむつを常時使用しているご家庭に尿とりパッドなどを支給します。申請書は、町内の居宅介護支援事業所にも置いてあります。

- 対象 町に住所を有し、自宅で生活している要介護3～5の人
- 支給品 尿とりパッドなど1カ月相当分(内容審査後、10月下旬に長寿健康課で配布予定)
- 申請 9月10日(木)まで。介護保険証と認印を持参の上、長寿健康課で手続きをしてください。

在宅介護のご家庭へ

心の悩み、打ち明けてみませんか

福祉と健康
すこやか
情報室

最近、思い当たることはありませんか？

- ・眠れない
- ・気分が落ち込む
- ・なんとなく不安
- ・元気がでない
- ・イライラする
- ・誰とも会いたくない(引きこもり)

- ・集中力が続かない
- ・アルコールの問題がある
- ・物忘れがある(認知症)
- ・シンナー・薬物がやめられない

県や町は、心の問題を抱えている人や悩みのある人、家族や周りの人のことでお困りの人などを対象とした相談会を開いています。相談には、精神科医が応じます。心配なことは一人で抱え込まずに、ご相談ください。

●こころのほっと相談 要予約

■日時

8月25日(火)、11月10日(火)、平成28年2月9日(火)
いずれも午後1時30分～4時 (二人1時間程度)

■会場 紫波町役場

■申込・問合せ

2日前までに、福祉課に予約してください。

福祉課 福祉推進室

☎(672)2111 内線1222

●県中央保健所こころの健康相談 要予約

■日時 9月2日(水)、10月7日(水)、11月4日(水)、12月2日

(水)、平成28年1月6日(水)、2月10日(水)、3月2日(水)
いずれも午後2時～4時

■会場 県中央保健所2階(盛岡市内丸11-1)

■申込・問合せ 県中央保健所保健課

精神・難病チーム ☎(629)6574

「おしゃべり会」申込不要

心の病を持つ人の家族が、普段話せない悩みや苦しみ、病気の症状や服薬などについて、気軽に話せる憩いの場です。

■日時 8月20日(木) 午前10時～11時30分 ■会場 わっふる(日詰字中新田226-1)

■問合せ 福祉課 福祉推進室 ☎672-2111 内線1222



からだよろこび
ヘルシーレシピ

温野菜の人参ドレッシング

材料(作りやすい分量
～約15人分～)

ニンジン	250g	みりん	30cc
玉ネギ	100g	オリーブオイル	100cc
酢	100cc	しょうゆ	50cc
砂糖	40g	塩	小さじ1

お好みの野菜(今回は温野菜2人分として)

キャベツ	120g
ズッキーニ	150g
ジャガ芋	100g
トマト	1個

紫波町食生活改善推進員協議会 長岡地区会員 細川玲子さんのレシピです

ポイント●手作りのドレッシングは市販のものよりも塩分を控えることができます。

- 1 ニンジンと玉ネギの皮をむき、ミキサーが回りやすいように切る。
- 2 ①とその他の調味料をミキサーに入れ、なめらかになるまでよく混ぜる。
- 3 キャベツ、ズッキーニは食べやすい大きさに切り、電子レンジに3分かける。
- 4 ジャガ芋は皮をむき、食べやすい大きさに切って、電子レンジに3分かけるのを2回繰り返す。
- 5 器に野菜を盛り付け、トマトを添えて、作っておいたニンジンのドレッシングをかけたら出来上がり。

ドレッシングは、冷蔵庫で4～5日ほど保存可能です。





地域熱やサッシ、暖房機器、換気装置、断熱材など、エコハウスに使用される建材のブースが並びました

環境と体によい暮らしを考える ～住まいづくりセミナー～



多様な住まいのカタチが紹介された片岸さんの講演。
来場者は興味深そうに耳を傾けていました

町は7月25日、紫波型エコハウスの性能や快適さを広く周知し、新築や改修などへの普及することを目的に、情報交流館で「住まいづくりセミナー＆建材展示会」を開催しました。一般の方々や環境マイスター養成講座の受講生など約60人が来場し、エコハウスの良さやこれからの暮らし方などについて考えを深めました。

午前中には、(一財)省エネルギーセンター認定エネルギーアドバイザーの長土居正弘さんが講演し「日本のエネルギーの95%は海外に依存しており、国内経済循環の促進と地球温暖化の抑制のためには省エネルギーな暮らしが欠かせません」と述べた上で、より少ないエネルギーで快適に過ごせる高断熱住宅の良さや、家庭で気軽に取り組める節電の例を紹介しました。

また午後は、エコハウスの建築や断熱改修を手掛けている一級建築士の片岸弓枝さんが「人と自然に優しい女性目線の家づくり」と題して講演。住む人の生活動線や、将来必要となる改修にも配慮した、実用的で暮らしやすい住まいの実例を紹介しました。

来場者からは「講演を聞いて、家事の動線が考えられた設計や、躯体の断熱性能を上げるという視点がとても参考になりました。そして、将来の環境に配慮した家づくりがどんどん広がってほしい」と思いました」という声が聞かれました。

報告

家庭ごみ月別排出量

町内で排出された家庭ごみの量を、3カ月ごとにまとめてお知らせします。

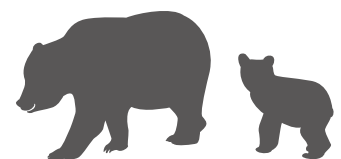


単位: kg

	4月	5月	6月
燃やせるごみ	409,560	384,180	371,150
生ごみ	63,050	59,630	60,470
資源ごみ	81,880	77,220	72,230
大形・不燃ごみ	55,690	53,340	43,720
その他	6,710	3,890	4,140
計	616,890	578,260	551,710

クマに注意 しましょう！

農作物の収穫時期を迎え、クマが里に下りてくることがあります。農作業などで外に出る際は、鈴やラジオなど音の出るものを身に付けて、クマとの遭遇を防ぎましょう。



自ら学ぶ楽しさ体感 調べる学習講習会

図書館で6月27日、調べる学習コンクール講習会が開かれ、町内外の小学生21人が参加しました。子どもたちが自ら課題を発見し、その課題を解決する力を身に付ける応援をしようと、昨年に引き続き企画されたもの。子どもたちは、自分が疑問に思っていることなどを紙に書き出した後、図書館司書や講師の神奈川県大和市教育委員会学校図書館スーパーバイザー・藤田利江さんから教わりながら、図書館の本の中から答えを見つけ出していました。

宇宙について調べた日詰小学校3年生の山縣桜佳さんは「分からなかったことが全部分かって、友達にも教えたいなと思いました。これからも分からないことがあったらまた調べてみたい」とうれしそうでした。藤田さんは「大人も子どもも、分からないことが分かると楽しいもの。今日感じた楽しさをきっかけに、子どもたちには調べる学習をどんどんやってほしいですし、学校でも、子どもたちが調べ方を体得し、おもしろさを実感できるような授業をしていてもらえれば」と調べる学習の広がりを願っていました。



「しらべもの」コーナーの本棚から本を選び、疑問の答えを探す参加者

図書館
からの
お知らせ

★第1回紫波町図書館調べる学習コンクール 作品募集

調べたことをまとめて、コンクールに応募してみませんか。

■募集期間 10月18日(日)まで ■対象 小・中学生

■問合せ 紫波町図書館 ☎671-3746

三川
紫波町図書館
SHIWA PUBLIC LIBRARY

催し

少子高齢化や人口減少などが進む中、地域の中でみんなが安心して幸せに暮らすためには、どうしたらよいのでしょうか。これからの時代や状況に合ったまちづくりについて、全国の先進事例や町内で取り組まれている活動をとおして考え、学ぶ「持続可能なまちづくり研修会」が始まりました。どなたでも参加できますので、お気軽にお出かけください。

～地域の取り組みについて聞いてみよう～ 誰でも集える『田舎の茶の間』

申込
不要

古館地区で取り組んでいる『田舎の茶の間』について、活動を行っている皆さんからお話を伺います。『田舎の茶の間』は、「困ったときに声をかけ合える地域にしたい」「いろいろな世代がお互いに支え合える地域にしたい」という思いから、地域の空き家を活用して始まった取り組みです。事例発表のほかに、情報交換会も行われます。

■日 時 8月21日(金)午後6時30分～8時

■会 場 情報交流館 2階 大スタジオ

■問合せ 企画課 協働支援室 ☎672-2111 内線2310



さまざまな年代の人が集まり憩う「田舎の茶の間」。6月から11月まで、月に1回開かれています。



石破大臣がオガール地区を視察

石破茂国務大臣が7月3日、オガール地区を視察に訪れました。大臣は、オガールプロジェクトの趣旨や各施設の整備意図などについて関係者から説明を受けた後、図書館や子育て応援センターしわっせ、産直「紫波マルシェ」などに足を運び、利用者の方々と言葉を交わしていました。

しわっせを視察する石破大臣(左)

大豆を育て町の農業を学ぶ 二中学生

紫波第二中学校(藤原美智雄校長)の1年生46人が7月6日、犬吠森地内にある転作田で、大豆の種まき体験をしました。農事組合法人「ゆいこの里犬草」の協力を得て行っているもので今年で8年目。生徒たちは、地元の皆さんからやり方を教わりながら、あらかじめ引かれた線に沿って種を2粒ずつ丁寧に植えました。阿部知可さんは「腰が痛くなり、農家の方々の苦労が分かりました。元気にたくさん育ってほしいです」と秋の収穫を楽しみにしていました。



約1時間かけて約37アールのほ場に種をまいた生徒たち

情報交流館が来館者 100万人を達成

オガールプラザ内の情報交流館が7月7日に来館者100万人を達成しました。100万人目となった阿部明日香さんと勇義君(古館)は「図書館と産直、しわ寄せを利用しにきました。100万人は思いがけないことでとてもうれしいです。オガールはきれいでおしゃれ。『ここに来たら何かあるかも』というワクワク感もあります。これからどんどん使いたいです」と笑顔でした。同館は平成24年6月にオープンし、同年8月末に図書館が開館。図書館や各スタジオの利用者とともに視察や見学で訪れる人も年々増え続けています。



熊谷町長と一緒にくす玉を割った阿部さん親子(右)。記念に、紫波マルシェのお買い物券と図書館オリジナルバッグが贈られました

町連合婦人会が60周年記念式典を開催



「今後も、地域に根ざした緻密な活動を進めていきたい」と語った瀬川会長

紫波町連合婦人会(瀬川智子会長)は7月7日、オガールベース内アリーナを会場に、60周年記念式典を開催しました。同会は、町内9地区の婦人会で構成されており、女性の地位向上や男女共同参画社会の推進など、町の発展の一翼を担ってきました。式典には約300人の会員が出席し、立場を越えた共助の精神と女性力をさらに結集し、明るく生きがいのある町づくりへの貢献を誓いました。また式典後には、元総務大臣の増田寛也氏が、国が進める地方創生の概要について講演しました。

シルバー人材センターが環境美化奉仕

紫波町シルバー人材センター(前田稔理事)は7月17日、オガール地区と城山公園でボランティア活動を行いました。地域貢献のために会員総参加で取り組んでいるもので、今年で16年目。参加した約100人は、草取りや草刈り、植木の剪定作業などに、約2時間汗を流しました。奉仕作業は、秋にも各地区の公共施設で行われる予定です。



持ち寄りの道具で、城山公園の生垣の手入れをする皆さん



出店者との会話を楽しみながら買い物をする来場者

初めての「日詰あおぞら市」盛況

日詰商店街近くの元保健センター駐車場で7月26日、第1回日詰あおぞら市が開かれました。商店街界わいに新たな交流の場をつくろうと、同実行委員会（大野晴久実行委員長）が企画。町内外から33店が出店し、午前6時の開場とともに訪れた方々は、農産物や木工品、雑貨、食料品などを買い求めました。大野実行委員長は「予想以上にたくさんの人に来場いただくことができました。出店者の皆さんや若い人たちから意見を伺いながら次の企画につなげ、徐々に定着させていくことができれば」と今後の展望を語っていました。

災害時協定をヤマト運輸(株)と締結

町は7月17日、ヤマト運輸(株)と災害時における物資の緊急輸送と物資拠点の運営について、協定を結びました。今後、町内で地震や大規模風水害が発生し、救援物資の輸送や物資の保管などが必要な場合、町の要請によって同社の協力が得られることになります。



協定書を手に固い握手を交わした熊谷町長(右)とヤマト運輸(株)岩手主管支店の富田芳正支店長(左)

誰もが自分らしく生きられる社会を目指して



「学び考え、意識を変え、さまざまな問題に対応していくためには、教育がとても大切」と述べた村上さん

紫波総合高等学校（田中耕之助校長）で7月21日、男女共同参画推進講演会が開かれました。講師には、NPO法人カラゝ西アフリカ農村自立協力会の代表理事の村上一枝さんが招かれ、世界の最貧国の1つに数えられているマリ共和国の農村部の現状と取り組みを紹介。続いて、町農業委員の工藤姫子さんが、農地の大切さや農業にかける思いを発表しました。同校生徒529人と一般参加者55人は、それぞれに自分らしい生き方について考えを深めた様子でした。

見守り支え合う、明るい地域を目指して

第65回社会を明るくする運動紫波町推進委員会（熊谷泉会長）は7月17日、紫波第三中学校（森亮校長）で「ふれあいお茶会」を開きました。同校の3年生49人は、紫波総合高等学校茶道部の皆さんが点てたお茶をいただきながら、地域の方々と、和やかな交流のひとときを過ごしました。「正座は大変だったけど、お茶は甘くておいしかったし、地域の方々と話すことができて良かったです」と細川勇輝君。紫波地区保護司会長を務める新里哲之さんは「この会が、少しでも多くの子どもたちと地域の人たちとが声をかけ合うきっかけになればうれしいです」と語っていました。



お茶をいただきながら会話を楽しむ生徒と地域の方々

催し

紫波そばの里まつり

真っ白なソバの花畑を眺めながら、町産ソバ粉で作られたそばをいただきます。ソバの加工品や地酒、農産物などの販売もあります。

■日時 8月22日(土)

午前10時～午後2時30分

■会場 志和地区 特別養護老人ホーム百寿の郷(県道盛岡和賀線 山王海土地改良区前交差点から南へ約500m そばの里まつりのぼり旗が目標)

■問合せ

J A いわて中央紫波地域営農センター
☎(672)1582 有線(01)68909

絵本の中のクッキング
～季節の行事食～

「手作り工房きくぱん」が提案する食育推進事業として、地元産食材を使い、絵本の中に出てくる食事やおやつなどを作ります。絵本の読み聞かせも行います。

■日時 9月13日(日) 午前10時～午後1時

■会場 情報交流館1階 キッチンスタジオ

■テーマ お月見(月見だんご)／読み聞かせ「かぐやひめ」

■対象 5歳から小学校3年生までの子と保護者10組(定員になり次第締め切り)

■参加費 1人 500円

■持ち物 エプロン、三角巾、内履き

■申込・問合せ 9月2日(水)まで

農林課 食育担当

☎(672)2111 内線2241

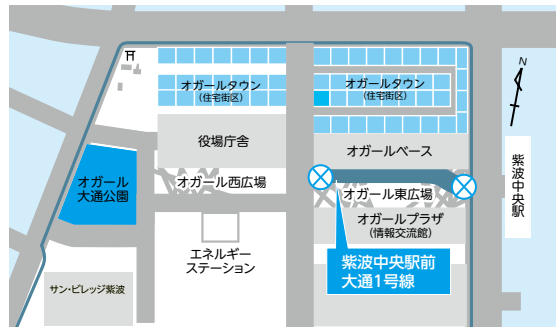
幼児と保護者を対象とした
『夏祭り』

紫波町子育て応援センターしわつせと虹の保育園子育て支援センターは、合同で「夏祭り」を開催します。【予約不要】

■日時 8月27日(木) 午前10時～11時

■会場 オガール東広場

■対象 就学前のお子さんとその家族
(ただし、先着200人)



交通規制にご注意ください 会場のオガール東広場に隣接する町道「紫波中央駅前大通り1号線」は、夏祭り開催時間は車両通行止めとなります。ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。

■問合せ 子育て応援センターしわつせ
☎(671)2200

お知らせ

平成27年国勢調査に
ご協力ください

総務省は、今年10月1日を基準日として

「国勢調査」を実施します。この調査は、日本に住んでいる全ての人と世帯を対象とする。国の最も重要な統計調査です。調査の結果は、社会福祉、雇用政策、生活環境の整備、防災対策など、私たちの暮らしのために幅広い分野で役立てられます。

今回の調査では、先にインターネットでの回答を受け付け、インターネット回答がなかった世帯には紙の調査票を配布して調査を行います。9月上旬から10月中旬にかけて、皆さんのお宅へ調査員が訪問し調査書類を配布・回収しますので、ご協力をお願いします。

調査票に記入していただいた内容は、統計法に基づき秘密が厳守されます。また、調査員をはじめとする国勢調査に従事する人には個人情報保護するための厳格な守秘義務が課されますので、正確な記入をお願いします。

■問合せ 総務課 総務文書室
☎(672)2111 内線23402343

成人式の町外在住者
申込受付開始

町外にお住まいの人を対象に、本年度の成人式への参加申込を受け付けます。希望する人は、①氏名②生年月日③性別④現住所⑤帰省先住所⑥電話番号⑦案内状送付先(④か⑤)を電話または電子メールで申し込みください。家族からの申請も可能です。案内状は12月下旬に、町内にお住まいの人と同時に郵送します。

■日時 平成28年1月10日(日)
午後1時30分～3時30分

(午後1時受付開始)

■会場 サン・ビレッジ紫波

■対象 平成7年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた町出身者

■申込・問合せ 生涯学習課

☎(672)2111 内線3122

✉ syogakusyu@town.shiwa.iwate.jp

8月21日(金)の「すいやか号」は、
「境田」と「的場」に停車しません

「希望郷いわて国体自転車競技リハーサル大会が開催されることに伴い、8月21日(金)のみ、すいやか号の運行ルートを一部変更して運行します。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

■変更日と路線 8月21日(金)

川西中線 左回りコース

■変更内容 「境田」と「的場」の停留所には停車しませんので、その他の停留所をご利用ください。

■問合せ 企画課 総合政策室
☎(672)2111 内線2331

農業委員の異動がありました

6月5日付けで、岩手中央農協推薦の玉山幸男氏に代わり生内多喜男氏(上平沢)が、農業共済組合推薦の松田公夫氏に代わり岩館則雄氏(南伝法寺)が任命されました。所属はいずれも農地調整小委員会です。

■問合せ 農業委員会事務局
☎(672)2111 内線2170



生内多喜男さん



岩館則雄さん

敬老会が開催されます

対象者には各地区社会福祉協議会からご案内がありますので、ぜひご参加ください。

■対象 75歳以上の人(平成28年4月1日時点)

■日時・会場

地区	日時	会場
日詰	9月10日(木) 午前10時30分～	ナックスホール
古館 ①(下町、十日市、桜田地区) ②(上町、中陣、前郷地区)	9月5日(土) ①午前10時～ ②午後1時30分～	古館ふれあいホール
水分	9月12日(土) 午前11時～	志和稲荷神社
志和	9月13日(日) 午前10時30分～	JAいわて志和支所 生活会館
赤石 (平沢、桜町、犬淵地区)	9月12日(土) 午前10時～	ナックスホール
赤石 (北日詰、南日詰地区)	9月13日(日) 午前10時～	
彦部	8月30日(日) 午前10時～	ナックスホール
佐比内	8月29日(土) 午前10時～	佐比内公民館
赤沢	8月29日(土) 午前10時～	赤沢小学校体育館
長岡	9月13日(日) 午前10時30分～	長岡小学校体育館

■問合せ 長寿健康課 高齢者支援室 ☎672-2111 内線1323
有線01-8900、8901、8931、8932

町民尺八基礎講座

■日時 8月30日～10月18日の毎週日曜日
午後6時～7時30分(全8回) ■会場 中央公民館
■参加料 1000円(教材代) ※尺八は無料貸与
■申込・問合せ 紫波尺八同好会 玉山 ☎676-5109

⇒ サークルガイド

スキルを身につけ、再就職を目指しませんか 受講無料

岩手職業能力開発促進センター(ポリテクセンター岩手)は、公共職業訓練10月コースの受講生を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

■訓練期間 10月2日(金)～平成28年3月30日(水)

■入所選考日 9月8日(火)

■募集科・定員 金属加工科(15人)、電気設備技術科(18人)、建築CAD施工科(18人)、ビル管理技術科(20人)

■申込・問合せ 8月31日(月)まで

ポリテクセンター岩手 訓練課(花巻市天下田69-1) ☎0198-23-5712

消防職員採用試験

平成28年度に採用する盛岡地区広域消防職員の採用試験が行われます。

■職種と採用予定人数 消防職 25人程度

■勤務地 盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町のいずれかの消防署、分署または出張所

■受験資格 高校卒業以上または平成28年3月に卒業見込みの人。高校卒業者は、平成4年4月2日から平成10年4月1日までの間に生まれた人。大学または短大卒業者は、平成2年4月2日以降に生まれた人

※標準体位(身長、体重、胸囲、視力、色覚)の要件有り

■試験日時

〈1次〉10月18日(日)午前10時～、〈2次〉11月中旬

■申込・問合せ 8月17日(月)から9月9日(水)までに、申込用紙に必要事項を記載して、盛岡地区広域消防組合事務局まで郵送または持参。

〒020-0023 盛岡市内丸8番5号 盛岡地区広域消防組合事務局 ☎626-7403

※募集要項と申込用紙は、紫波消防署でも入手可

岩手県知事選挙および岩手県議会議員選挙 投票日9月6日(日)

詳しくは、広報と一緒に配布した「選挙のお知らせ」をご覧ください。

■紫波町選挙管理委員会 ☎672-2111 内線2341

車椅子利用者の無料送迎

町内にお住まいの人で車椅子でしか移動できない人を対象に、8月21日(金)から9月6日(日)までの期間、自宅から投票所までを無料で送迎します。希望する人は下記までご連絡ください。

■紫波町社会福祉協議会 ☎672-3258 有線01-2105

役場はフリーメールの受信制限をしています

役場では、標的型メール攻撃によるウイルスなどの感染リスク低減のため、フリーメール(yahoo、gmailなど)からの受信を制限しています。うまく送れないときは、次の問合せメールフォームから願います。

http://www.town.shiwa.iwate.jp/cms/contact

■問合せ 企画課 情報政策室 ☎672-2111 内線2320

ラ・フランス温泉館、ホテルゆらら
利用者累計500万人
達成間近!!

8月19日(第3水曜日)は休まず営業いたします。

紫波町小屋敷新在家90番地
☎019-673-8555
FAX 019-673-8556
URL <http://www.lafrance.co.jp/>

ハダカのおつきあいー家だんらん。

La FranCe
ラ・フランス温泉館

紫波の風土がみえるワイン
ぶどう栽培農家の思いから生まれた
100%地元産です

お土産に
紫波の
ワインを

自園自醸ワイン 紫波
岩手県紫波町産葡萄100%のこだわりワイン
お問い合わせは県内酒販店・スーパー・百貨店にて

待望の
スパークリングワイン
8月27日(木)
ワイナリー直売所にて新発売

(株)紫波フルーツパーク 紫波町遠山字松原1-11(道の駅紫波の裏手)
☎019-676-5301 <http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/> 紫波ワイン 検索

紫波中央駅前地区の植樹帯を芝に張り替えます

町は、紫波中央駅前地区の景観を良くするために、同地区の区長を中心とした地域の皆さんと意見交換会を2回行い、植樹帯の整備方針を決めました。これに基づき、生育不良のキリシマツツジが多かった植樹帯の一部を芝に張り替えます。芝にすることで、オガール地区周辺に統一感を持たせることを目的の一つとしています。芝は9月上旬、紫波第一中学校の生徒の皆さんに協力をいただきながら植える予定です。



生育不良だったキリシマツツジ

また「キリシマツツジを残したい」という声を受け、比較的生育状況の良いものは土壌を改良した場所に集めることとし、生育不良のものは引き取りの希望があった場所でまた花を咲かせることになりました。

工事期間中はご迷惑・ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

- ◆工事期間 10月30日(金)まで
- ◆工事場所 オガールタウン北側・紫波中央駅前の一部
- ◆問合せ 都市計画課 都市整備室 ☎672-2111 内線2142

あなたの町の
介護タクシー
いわっち

あなたのお出かけを
サポートします(介護保険適用外)
(通院・買物・行楽・送迎・墓参り)
初乗り運賃 510円(1kmまで)

紫波町開業第一号 東北運輸東北運輸局許可 東自旅二第100号

予約 携帯 **090-5836-4478**
お問合せ先 電話&FAX **019-613-5204**

ケアドライバー
中村行男
(ヘルパー2級・
二種免許取得)

紫波町のみなさまへ **結婚相談のプロが無料相談受けます**

(成婚料は安心の後払いです)
※いつも相談される方の「願い」を心に置いて、良いチャンスにめぐりあえるよう誠実に努力しております。

【無料相談会】 日時 8月22日(土) 13:00~17:00 (最終受付16時)
場所 オガールプラザ「小スタジオ3」(完全予約制)

【和菓子作り合コン】 ※和菓子の巨匠が講師
日時 8月29日(土) 13:00~16:30
場所 サンライフ盛岡 (男性45才まで 女性制限なし)
参加人数に限りあり ご予約を!

初婚・再婚・中高老年の方応援! お電話下さい

★盛岡相談室では随時受付しています (秘密厳守)
アシスト・ユー・イフテ (株)全国ブライダル連盟加盟(全国ネット)
TEL FAX **019-652-0811** 永年の実績と信用を誇る結婚相談所 盛岡市大通3-7-6 山根ビル5F

空き家 対策 お気軽にご相談ください

頼れる相談相手がいない
どうしたら良いのかわからない

岩手県知事免許(1)第2440号・(公社)全日本不動産協会会員
(株)紫波中央不動産
〒028-3305 紫波町日詰字丸盛222-1(ソフトバンク紫波さん 隣り)
☎019-671-2161 紫波中央不動産 検索

見て、さわって、背負ってみよう
2016年Newモデル
ランドセル

天使のはね RAN-KOSEI
フットちゃん

●早期とくどく割引ご予約会 Newモデル 100円以上 展示
メーカー直接仕入れから出来るこの価格

●通常販売価格より最大 **13,860円引き!!**
「Newモデルロイヤル」10,900円引き、「Newアディダス」14,640円引き

さらに 送料、代引手数料サービス 全品、安心の6年間保証付
※数量限定品もありますので、お早めにご来店ください。

ランドセル 展示会場のご案内
オガールプラザ内 紫波町情報交流館 2階(23日は4時終了)
8月22日(土)・23日(日) AM10:00~PM5:00
ショッピングモール アルコATMとなり(30日は5時終了)
8月29日(土)・30日(日) AM10:00~PM6:00

「天使のはね」「フットちゃん」取扱店
ランドセル 一番館
☎0120-935-084

遠野・釜石地区 遠野市中央通り1-17
北上・奥州地区 奥州市江刺区六日町1-10

医療保険適用
在宅マッサージ

無料 お試し体験 実施中!!

・歩行が困難な方
・身体にマヒがある方・不自由がある方
・車椅子使用の方など…
お気軽にお電話ください。
紫波エリア担当 ☎090-3753-0594

ご病気や障害・高齢等により自力で歩行通院が困難な方を対象にした在宅で安心して受けられる医療サービスです。
あん摩・マッサージ・指圧師の国家資格保持者が施術します。医師の同意書が必要です。(書類は治療院にあります)
利用料につきましては、ご加入いただいている保険によって変わりますのでご相談ください。

レイス治療院グループ
盛岡となん整骨院
盛岡市三本柳10地割17-53
TEL.フリーダイヤル
☎0120-213-222

マッサージのプロフェッショナルを目指すマッサージ師さん募集!

町長からのメッセージ

先月は、町がお世話になっている会社を訪問する機会があった。

一人は名古屋でサインディスプレイ業を立ち上げ、町へ7年間、毎年高額寄附をしてくださっている古館地区出身の水本氏である。氏は盛岡商業高校を卒業後、日立の会社を経て、昭和53年に(株)ファーストを設立、現在は会長職にあり、「グッドデザイン賞」をはじめ数々の賞や特許を取得しており、名古屋の経済界でも活躍している。70歳の現在も多忙な中、同社で感謝状を手渡した後には、昔の古館の様子や会社設立の苦労話などをお話ししてくださった。著書『超二流』中小企業実業会社の挑戦』も寄贈いただいたので、図書館でご覧いただければと思う。

また、福岡県北九州市の小倉にあるTOTO本社にも出向いた。今年創業100周年を迎える業界トップの会社であり、町の企業の森づくりに参加いただくとともに、紫波自園自醸ワインを毎年6000本以上お買い上げいただいている全国有数の企業である。

7月は東京、名古屋、小倉、博多と回ったが、東京が一番暑く感じた。他は市内に大きな川があり、幾分涼しいが、九州のセミの声は半端ではなく、小さな街路樹一本でも全山のセミが鳴いているように聞こえる。酷暑が続く毎日、熱中症にはくれぐれもご注意願いたい。

熊谷 泉

人形・ぬいぐるみ供養祭

9月13日(日)午前11時～

人形受付 9月13日(日) 午前9時～10時30分

会場 シンセラホール紫波

供養特典

- 記念品をご用意してお待ちしております。
- 御供養終了後、昼食を準備しております。

岩手県紫波郡紫波町桜町字上野沢278

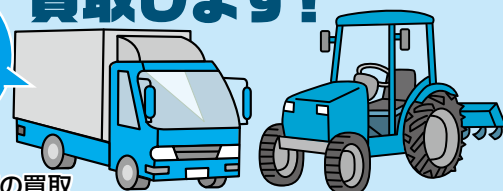
☎676-7676 FAX676-4404

供養料
500円



ご不要になった各種車両を買取します!

トラック
建設機械
農業機械



現金買取
遺産相続車両の買取
車検切れの車・置きっぱなしの車・事故車・故障車もOK

(株)マイタコーポレーション (古物商:第211030000835号)

紫波郡矢巾町煙山17-78-1 ☎019(697)3939 FAX019(697)7028

こずかた診療所

内科・リハビリテーション科

■診療時間平日 9:00～12:00/13:30～17:30

■受付時間平日 8:30～11:30/13:15～17:00

■休診 土曜・日曜・祝日

介護老人保健施設 博愛荘

■施設概要 在宅復帰に向けた支援を目的に、医学的管理のもと看護・介護及びリハビリテーション、その他日常生活のお世話をさせていただきます。

■利用対象者 65歳以上で介護保険の要介護1～5の認定を受けられた方。
※45歳以上の方は特定疾病の診断を受けなおかつ要介護1～5の方

矢巾町大字又兵衛新田5-67-1 医療福祉多機能ビルケアセンター南昌(矢幅駅西口)

☎019-698-2015(代) ☎019-698-3033(受付)

デイサービスだいいち他 施設は自由にご見学いただけます 施設利用者・体験利用者募集

9月は
敬老会を開催
します。

8/8(土)は
夏祭りイベントを
開催しました。

ハートホームだいいち ☎028-3301 紫波町中島字下長根121-3
☎019-613-8257 へお問い合わせ下さい。

詳しくはHPをご確認ください。
<http://www.daiti-home.com/>

ハートホームだいいち

検索



携帯スマホ電話帳を (町内企業電話帳) ご利用ください。

インターネット放送局 紫波TV

<http://shiwa.tv>

町内企業のホームページを無料リンク致します。また、音声CMサイトを作成して設置が出来ます。



【問合せ先】☎676-2838 (有)佐藤時計店

相心館 ゆう 美容室

ルーズに見えないお洒落ヘアの決め方
美髪ハリツヤは女子の夢



[夏休み]8月14日・15日・16日・17日

[定休日]毎月曜日・第3日曜日

〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺古屋敷6-31

TEL019-676-5825

E-mail yu@posh.jp

OPEN 8:40 CLOSE 18:30



町制施行60周年記念
シリーズ行ってみよう

まちかど タイムスリップ

普段の何気ない風景の中で、町の歴史を物語っている近代史跡を訪ねるコーナーです。皆さんの身近な地域にも、今まで知らなかった町のストーリーがひっそりと眠っているかも!?

日詰・赤石地区と彦部地区との間に架かる長さ247m、幅11.3mの紫波橋。3本の橋脚と両端の橋台は、水面下30mの岩盤まで掘り、最大直径9.8m、厚さ57cmのコンクリートケーソンを打ち込み、圧搾空気でお水を押さえながら掘り進む潜函工法で造られた。

紫波橋

町の中央を南北に悠々と流れている北上川。その川をまたぐ紫波橋、長徳橋、紫波南大橋の3橋は、町の東部と西部をつなぐ重要な交通施設であり、私たちの生活において欠かせない存在です。

町内で最初の架橋が試みられたのは弘化2年（1845年）のこと。北上川の東西にあった大きな道路を結ぶため、38代南部藩主の南部利済^{としかた}によって、城山の東側に土橋「承慶橋^{しょうけいばし}」が建設されました。藩財政の厳しさから、当時の勘定奉行元締の金子七郎兵衛保憲が私財一万両を投じて造られたもので、県内では中津川三橋（上の橋・中の橋・下の橋）、夕顔瀬橋に続く架橋でした。しかし、幾度もの洪水によって8年で流失し、以後しばらくは渡し舟による往来が続ききました。

それから約60年後の明治36年（1903年）、街道の整備や日詰町の発展による交通量



北上川の中に舟型の中島を築き、その双方に土橋を架けて造られた承慶橋の跡。川の水量が少なくなると、今でも大きな岩が見えてくる（今年7月13日撮影）



現在の紫波橋より80m上流に架けられていた旧紫波橋（昭和45年撮影）



町内から3世代夫婦11組が参加し、盛大に行われた紫波橋の渡り初め（昭和45年8月26日）



の増加から、豪商の平井政治郎によって私設の板橋「平井橋」が整備されました。大人1銭、子ども5厘で渡ることができましたが、同43年（1910年）の大雨で流失。その後、県の施設として木造で造られた「紫波橋」も大正12年（1923）に流され、その2年後により頑丈な鉄筋コンクリート構造で整備されました。

「永久橋」と呼ばれた旧紫波橋も、戦争中の高欄供出や、幾度もの洪水被害の影響を受けて次第に老朽化し、昭和45年（1970）には現在の場所に新たな紫波橋が完成。直後に行われた岩手国体では自転車ロードレースの舞台となりました。紫波橋は来年、2度目の国体の舞台となります。皆さんもこの機会に紫波橋の歴史に思いをはせてみませんか。

【引用参考資料】

『紫波町史1・2巻』紫波町史編集委員会
『北上川の橋』岩根哲哉 など



第71回国民体育大会 2016自転車競技
希望郷 いわて国体 2016年 10月5日～9日



第16回全国障害者スポーツ大会 ゲートボール競技
希望郷 いわて大会 2016年 10月22日～24日

